

# DCM マッパー通信

Vol. 2

2012.03発行

みなさん、こんにちは！マッパー通信第2号です。  
今回は、各地区の活動報告や今後の予定等を掲載しました。  
お楽しみいただき、今後の活動の参考にさせていただければ幸いです。



水野裕先生のあいさつです。



皆さま、年度末でいろいろあわただしいことと思います。  
DCM事業としましても、今年度は、2004年の第一回から親しんできた、第7版から第8版への移行を行う重要な年でした。翻訳作業は、約3年間を要し、昨年度後半からは、どのようにしたら、多くの方に支障なく、移行していただけるかに力を注いでまいりました。幸い、名古屋会場、東京会場の2会場とも予想を上回る受講数であり（合計202人）、久しぶりにお顔を見られて、こちらも懐かしく感じました。「今まで、休眠していたけれど、これを機にまた始めます」と言った声も聞かれ、また、よいきっかけとなっただけであれば、と思います。

新年度のビッグニュースと言えば、何と言っても、英国のドーン・ブルッカー教授が来日することでしょう。2002年に大府センターが、DCM事業に着手して以来、2004年2月に行われた第1回基礎コース、2008年に開催された上級コースに至るまで、ずっと私たちを支えてくださった方です。彼女を知る人は、彼女が何を語るか、よりも、彼女の私たちに対する態度、私たちに向けるまなざし、にパーソン・センタードな姿勢を学んだと口ぐちに言います。第13回日本認知症ケア学会の市民公開講座（静岡県浜松市、5月19日（土））での講演を皮切りに、5月21日（月）に、浜松医科大、5月25日（金）には、東京で、計3回講演されます。5月19日の講演会終了後には、マッパーの大同窓会のような雰囲気になるような交流会を企画しています。ぜひ、お会いしましょう。

（講演の詳細は、同封のチラシをご参照ください）



## DCM東日本交流会 桑野 康一さん

DCM東日本交流会は、マッパーの交流とマッピング支援のための活動を行っています。研修を終えた方は、マッピングしたいが、どうやって始めたらいいのだろう、誰か一緒にやってくれないだろうか、など心配があると思います。そこで交流会では、初心者マッパーの支援として、2時間のマッピングを行う「おためしマッピング」、6時間のマッピングとフィードバックを行う「フルマッピング体験」、「フォローアップ事例検討会」等の活動を、交流会世話人と受け入れ施設の協力のもとで行なっています。現在は、8版でのフィードバックの方法や、施設導入方法を議論したり、共有したりする貴重な機会ともなっています。

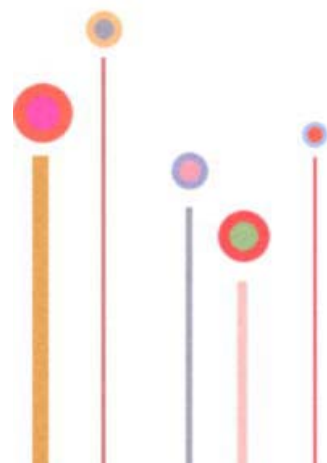
3月2日におこなったフォローアップ事例検討会では、5人のマッパーがDCMの実践について報告しました。DCMを取り入れてよかったと感じたこと（特養ホーム沼風苑 岡田さん）、DCMを活用した介護ロボット「パロ」の効果検証報告（首都大学東京 井上さん）、初めてのマッピング体験の振り返り（岡田病院 西脇さん）、特養ホームにDCMを取り入れた4年間の振り返り（町田市福祉サービス協会 伊藤さん）、DCMの失敗例から学んだこと（特養ホーム練馬高松園 磯岡さん）など、実践に踏み出したマッパーの貴重な体験報告がありました。その後、事例検討を行ないました。検討方法は、交流会メンバー小川さんから提案があった「ワールドカフェ方式」を行なってみました。この方式は、KJ法やブレインストーミング法などとひと味違って、大勢が情報を共有するのにとても有効だと思いました。今後流行の予感がしました。

また最近、全国の交流会同士の交流も活発になってきています。2月には、沖縄の交流会の立ち上げがあり、東日本交流会のメンバーも多数参加し相互交流を深めました。

DCMは、現場で経験を積み、マッパー仲間で議論し共有し合いながら、パーソン・センタード・ケアの理解を深めていくツールです。

ぜひ、このソーシャルネットワークに参加して、一緒に学び合いましょう。

DCM東日本交流会ホームページをご覧ください。  
DCM東日本交流会で検索ヒットします。  
3月末には、平成24年度の年間計画（予定）を掲載する予定です。



## DCM 東海地区交流会



東海地区交流会では、  
「東海地区のDCMを盛り上げていこう！」と  
毎年少しずつですが企画・運営を行っております。


昨年はH23年12月10日に交流会を2部構成で開催いたしました。  
第1部では、大府センターの中村裕子先生より「第8版のPE/PD」について  
ポイントをお話をしていただき、参加した12名で再認識する機会となりました。  
その後グループワークを行い[8版の疑問や悩み][マッピングをもっと浸透させる  
ためには][マッパーになって自分が変わったところ]という3つのテーマで『ワールド  
カフェ』的な手法でグループワークを行いました。  
参加者は新人マッパーから上級マッパー、トレーナーなど様々な立場でしたが各々  
マッパーとして様々な意見を出し合うことができ、疑問やDCMに対する想いなど共  
有でき、とても有意義な時間を過ごすことができました。  
そして…2部では毎年恒例になった忘年会を行い更に交流を深めることができまし  
た♪

H24年度は浜松での認知症ケア学会も開かれます。引き続き東海地区交流会も企画運  
営していきたいと思っておりますので、一緒にDCMを盛り上げていきましょう。



東海地区交流会の企画・運営についての御質問、おためしマッピングの御要望などは  
tokaidcm@hotmail.co.jpまで御連絡ください

新しくDCM東海地区交流会の世話人に参加し  
ていただいた方ご紹介をします。

笠原 正文 さん 

今回新たに東海支部の世話人となりました。皆さまよろしくお願ひ致します。大きな  
ことへの取り組みはすぐには出来ませんが、交流会を定着できるように地道に取り組ん  
でいきたいと思ひます。色々な情報の発信、顔が見える繋がりを目指しています。





DCM関西交流会とは、マッパー同志の交流とフォローアップを目的としたマッパー有志による会です。

ミニ勉強会、ブリーフィング、マッピング、フィードバックの体験や、フォローアップ事例検討会などの運営を関西地区のマッパー同志で自主的に行っていく予定です。

先進的に実践されている東日本、東海、中国四国、九州地区の皆さんを見習いながら、関西カラーを発揮し、一緒に楽しく実践していきましょう！！

新しくDCM関西交流会の世話人に参加していただいた  
3名のご紹介をします。

藤 みわこ さん




はじめまして。大阪から奈良に移り住んで13年…小規模多機能ホーム萌の里で“その人”を中心に“行き過ぎず、行き届いた心がけ”をモットーとして楽しく振り回される日々を過ごすこと…あっという間の5年です。DCMとの出会いはあるニュース番組の特集でした。せっかく気づけているのにそれが何なのかを気づけない事への使えるツールでは濃と思い勉強を開始しました。まだまだ経験不足の未熟者ですが、よろしくお願いいたします。

吉川 聡史 さん



この度、DCM関西交流会の世話人になりました吉川です。大変なお役を承り、その責任の重大さを痛感しております。この重責を担っていくには、力量不足でございますが、先輩諸氏はじめ皆さまのご助力を仰ぎながら、パーソン・センタード・ケアの実践に邁進してゆく覚悟でございます。ご多忙とは存じますが、認知症を取り巻く諸問題の解決のためにも、施設、在宅等にかかわらず、皆さまと対話ができれば幸いです。どうかよろしくお願い申し上げます。

マッパーの皆さま、大阪の株式会社 虹色のりんごの坂本明美です。  
DCMとの出会いは今から4年前でした。2年前にお試しマッピングを体験し、『関西地域でもお試しマッピングができないかな～？だれか、世話人さんしてくれませんか～？』と、思っておりましたところ、なぜか、関西地区の世話人の役を勢い余って引き受けることになりました。私は宴会係の方が得意なのですが…。関西地区のマッパーの交流を盛り上げさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。\*特に宴会です(\*^^)v

# 平成24年度 DCM関西交流会 活動計画（予定）

まずは

ミニ勉強会&交流会！

それから

おためしブリーフィング&おためしマッピング

いよいよ

おためしマッピング&フルマッピング

できれば

DCMフォローアップ事例検討会



コース	場所		開催日	募集
DCM8版伝達 ミニ勉強会	1. 大阪市立男女共同参画センター 南部館（愛称：クレオ大阪南）	大阪市	4/12	募集中
	2. 未定	---	---	---
	3. 未定	---	---	---
おためし マッピング	1. 和里（にこり）／特養	奈良県	7/	準備中
	2. 未定	---	9/	準備中
	3. 未定	---	12/	準備中
フルマッピング	1. 和里（にこり）／特養	奈良県	4/13,14	準備中
	2. 未定	---	---	---
	3. 未定	---	---	---
DCM フォローアップ 事例検討会	1. 未定	---	---	---

## <参加費の目安>

おためしマッピング2,000円 フルマッピング4,000円

日程、場所、参加費は変更する場合がございますのでご了承ください。

最新情報は、『DCM関西交流会ホームページ』にてご確認ください。

<http://www.nicori.or.jp/dcm-mapper-club/index.html>

または、DCM関西交流会で検索ください。

\*平成24年4月下旬までにホームページUP 予定…です



## 中国地区マッパー交流会の報告

中国地区  
中島 健司さん

2月23日から3日間、鳥取県・米子の地で第1回中四国地区マッパー交流会を開催いたしました。初日は講師に大府研修センターより中村先生・シルバー総研より桑野先生にお越し頂き総勢20人での勉強会を行ないました。勉強会では講義形式ではなく8版を使用しての感想や質問を共有すると共に講師のお二人から、それぞれの場面でのコードの付け方のポイントをアドバイス頂きました。特に僕自身、勉強になったのは7版での食事場面（観察者が1人で食事をしている）の記録と8版での記録の違いを再確認できました。7版では、観察者が1人で飲食を行い、相互交流が観察できない場合は、WEB値+1でしたが、8版では、気分・感情の部分で集中して飲食を楽しまれている場面ではME値+3と異なりテキストの読み込みをして行かなければと感じました。2日目は、3グループに分かれてのフルマッピングを行い夜遅くまでデータ分析を行ないました。（分析中の雑談も含め中村先生差し入れの小倉トースト味のキノコの里を食べながらワイワイと楽しく行ないました）、3日目はフィードバックを行ないましたが、予定は1時間の所、3グループ共にスタッフからもドンドンと利用者さんへの思いの言葉がみられ、話が盛り上がり1時間半を越える良い振り返りとなりました。



## シンポジウム「認知症ケアの現場に活かすパーソン・センタード・ケア」と「マッパー交流会inおきなわ」

沖縄地区  
仲本しのぶさん



“一般社団法人市民介護相談員なほ”では、2月3日（土）14～17時、那覇市の沖縄大学同窓会館で、法人化記念シンポジウム「認知症ケアの現場に活かすパーソン・センタード・ケア」を開催。私達は介護保険事業所を訪問して利用者の声を直接聴き、不満や要望等を事業所に伝え改善に結びつける活動を通して、認知症ケアの難しさを日々痛感しています。PCCの理念とDCMの手法を学び、解決の糸口を現場の方々と共に見つけたいとの思いで企画しました。

シンポジウムではNPO法人その人を中心とした認知症ケアを考える会理事長の村田康子さんの基調講演（パーソン・センタード・ケアの理念と、わが国における取り組みの現状）に続き、村田さんをコーディネーターとして(社)翠生会特養ホーム音羽レジデンス副施設長田邊薫さん（チームで活かすパーソン・センタード・ケア）、(株)HRS代表取締役関口清貴さん（DCMを施設にどのように取り入れるのか？）、NPO法人シルバー総合研究所常務理事桑野康一さん（認知症ケアマッピングの展開）、私仲本（パーソン・センタード・ケアの理念と介護相談活動）が其々発表しました。

沖縄で学ぶ機会の少ないPCCとDCMに「福祉医療に無関係の私でも良く理解できました」、「初心に戻った気分。職場に持ち帰ってがんばりたい」等々、アンケート結果からも感動の声が多く聞かれました。日本で先駆的な実践者の方々が一堂に会し、150名余の聴衆と最後までパーソン・センタード・ケアの熱い風を共有できた事は、大きな成果でした。

関東交流会の皆様や広島、福岡、石垣や県内各地から駆けつけて下さったマッパーの皆様、資料集に巻頭の辞を寄稿された水野先生、大府センターの広報にも感謝申し上げます。

翌日の交流会にも25名の方々が揃い、村田さんと桑野さんによるDCM8版伝達研修と関東医療学院の内田達二さんを座長とした活発な事例検討も行われ、夜は泡盛とウチナー料理で賑やかな懇親の宴となりました。



# 大府センター DCM推進室

## 大府センター23年度活動報告

○8版バージョンアップ研修開催（名古屋会場6月14日・東京会場7月9日）

○DCM8版基礎コース開催

1回目：平成23年9月29日～10月1日 大府（19期生36名）

2回目：平成23年11月17日～11月19日 東京（20期生36名）

3回目：平成24年1月19日～1月21日 大府（21期生36名）

## 24年度活動予定

○DCM研修の開講予定スケジュール

回数と場所	開催日時	申し込み期間と申し込み先
第1回 東京	6月28日～6月30日	3月28日（水）～4月3日（火） シルバー総合研究所
第2回 大府	7月26日～7月28日	4月25日（水）～5月1日（火） 大府センター
第3回 東京	11月29日12月1日	8月29日（水）～9月4日（火） シルバー総合研究所
第4回 大府	25年1月17日～1月19日	10月17日（水）～10月23日（火） 大府センター

○上級コース開催

平成25年3月7日～9日（予定）

詳細については秋以降となりますので、しばらくお待ちください

○その他

DCMホームページの開設等を 予定しています



## —大府センターからのお知らせ—

### 住所変更などについて

転居・転勤・ご結婚など、住所や氏名等の変更がありましたら、下記のメール又はFAXでお知らせください。

### 第8版テキスト販売について

第8版のテキストを販売しております。まだ、お手元にお持ちでない方で、購入を希望される方は、大府センターまでお問い合わせください。

お問い合わせの際は、「8版テキスト販売について」とお知らせください。

発行：認知症介護研究・研修大府センター

〒474-0037 愛知県大府市半月町3-294

TEL：0562-44-5551 FAX：0562-44-5831

e-mail：jimubu.o-dcrc@dcnet.gr.jp

編集協力：浅井 紫（東海地区世話人）

